

事業評価（案）

評価時点：事前評価

計画名称：防災・安全交付金事業

さいたま市の安全な都市をつくる下水道整備＜
第3期＞（防災・安全）

評価時点：事前評価

計画名称：防災・安全交付金事業

さいたま市の安全な都市をつくる下水道整備＜
第3期＞（防災・安全）（重点計画）

《建設局下水道部下水道計画課》

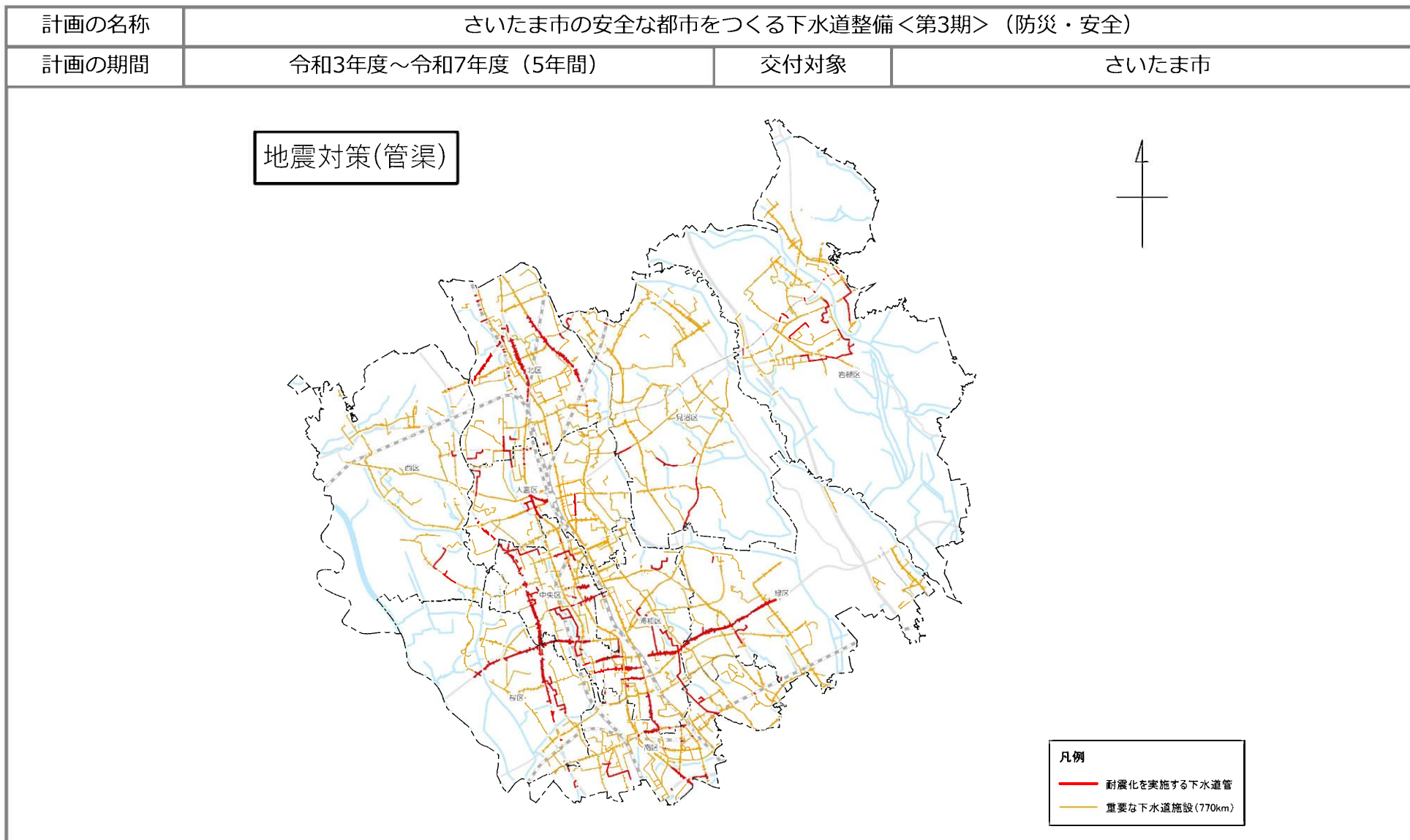
公共事業評価調書《事前評価・社会資本総合整備計画事業》

(1) 概要									
計画(事業)の名称		さいたま市の安全な都市をつくる下水道整備<第3期> (防災・安全)							
計画(事業)の期間		令和3年度～令和7年度 (5年間)							
計画の目標		下水道整備を行い、「安全で安心に暮らせる都市づくり」、「環境に配慮した快適な暮らし」、「健全で持続的な事業経営」の実現を図る。							
計画の成果目標 (定量的指標)		<p>①重要な下水道管のうち、地震による被害の最小化を図るため、地震時にも下水道としての機能が確保できる耐震性能を有している割合(耐震化率)を24%から34%に上昇させる。</p> <p>②中心市街地周辺の下水道管約1,400kmにおいて、安定した下水道サービスを提供するため、下水道管が健全な状態である割合(健全化率)を33%から63%に上昇させる。</p> <p>③安定した下水道サービスを提供するため、設備の老朽化により機能確保が困難となる設備を対象に令和7年度までに改築が必要なポンプ場9か所の改築を行い、ポンプ場の改築実施率を100%とする。</p>							
定量的指標 の定義及び 算定式	指標	指標①	重要な下水道管の耐震化率=耐震性能を有する管渠延長(Km) / 重要な下水道管(770km) (Km)	24%	30%	34%	定量的指標の現況値及び目標値		
		指標②	下水道管の健全化率=健全が確認された延長と改築を行った延長(Km) / 対象路線(1,400km) (Km)	33%	48%	63%	当初現況値 (年度)	中間目標値 (年度)	最終目標値 (年度)
		指標③	ポンプ場の改築実施率=改築を実施したポンプ場数(か所) / 対象ポンプ場数(9か所) (か所)	-	44%	100%			
		全体事業費	合計(A+B+C)	3,957 (百万円)	A	3,957 (百万円)	B	0 (百万円)	C

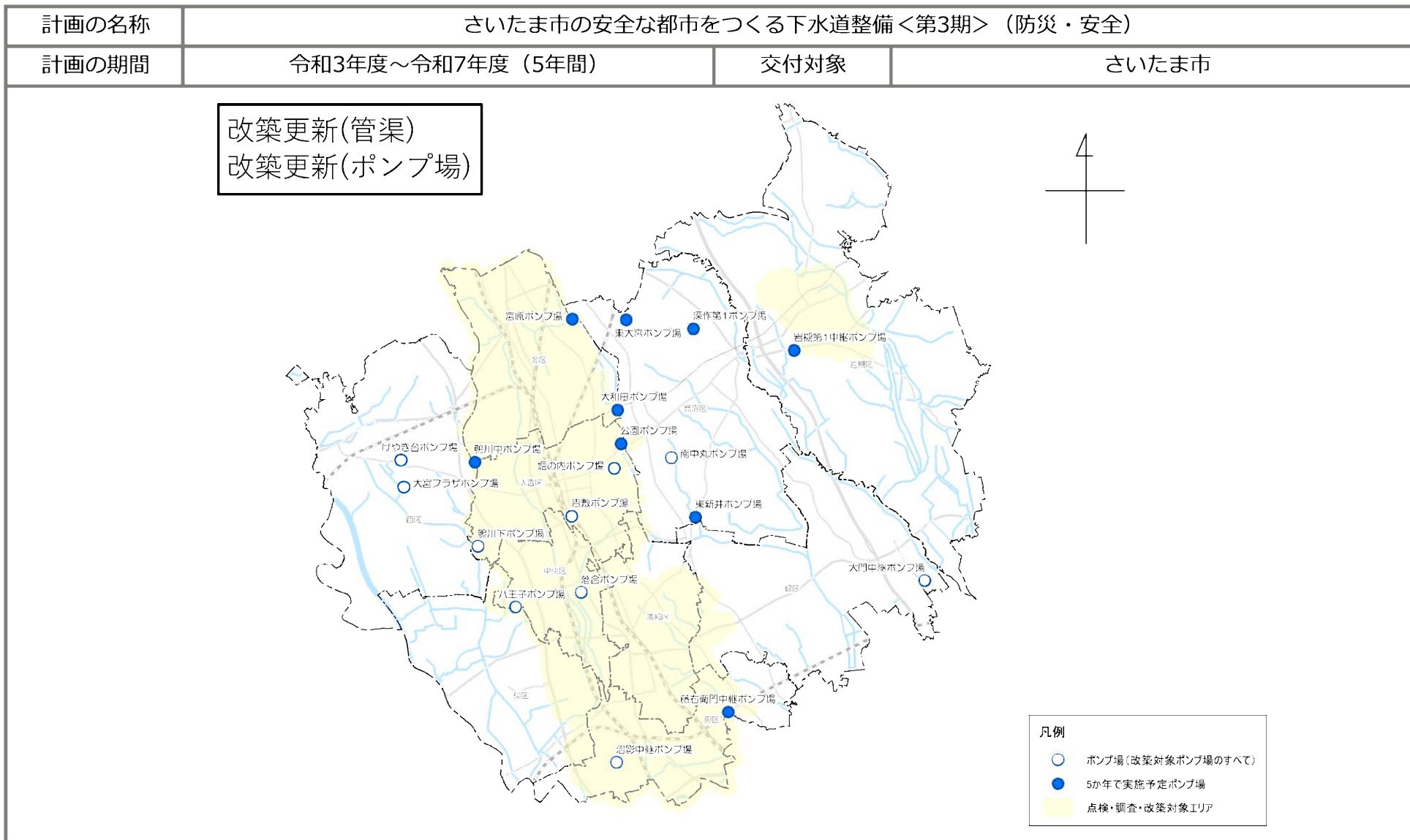
(2) 交付対象事業の詳細											
A 基幹事業											
番号	要素となる事業名 (事業箇所)	事業種別	事業内容 (延長・面積等)	費用便益費 B/C	事業実施年度					全体事業費 (百万円)	備考
					R3	R4	R5	R6	R7		
1	地震対策(管渠)	下水道	L=75km	-	■	■	■	■	■	2,293	下水道総合地震対策事業
2	改築更新(管渠)	下水道	L=27km	-	■	■	■	■	■	283	ストックマネジメント支援制度
3	改築更新(ポンプ場)	下水道	ポンプ場 9か所	-	■	■	■	■	■	1,381	ストックマネジメント支援制度
合計(基幹事業)										3,957	
B 関連社会資本整備事業											
1	(この欄は斜線表示)										
合計(関連社会資本整備事業)											
C 効果促進事業											
1	(この欄は斜線表示)										
合計(効果促進事業)											

担当部局	建設局下水道部下水道計画課 TEL: 048-829-1565 FAX: 048-829-1975 E-mail: gesuido-keikaku@city.saitama.lg.jp
------	---

参考図面



参考図面



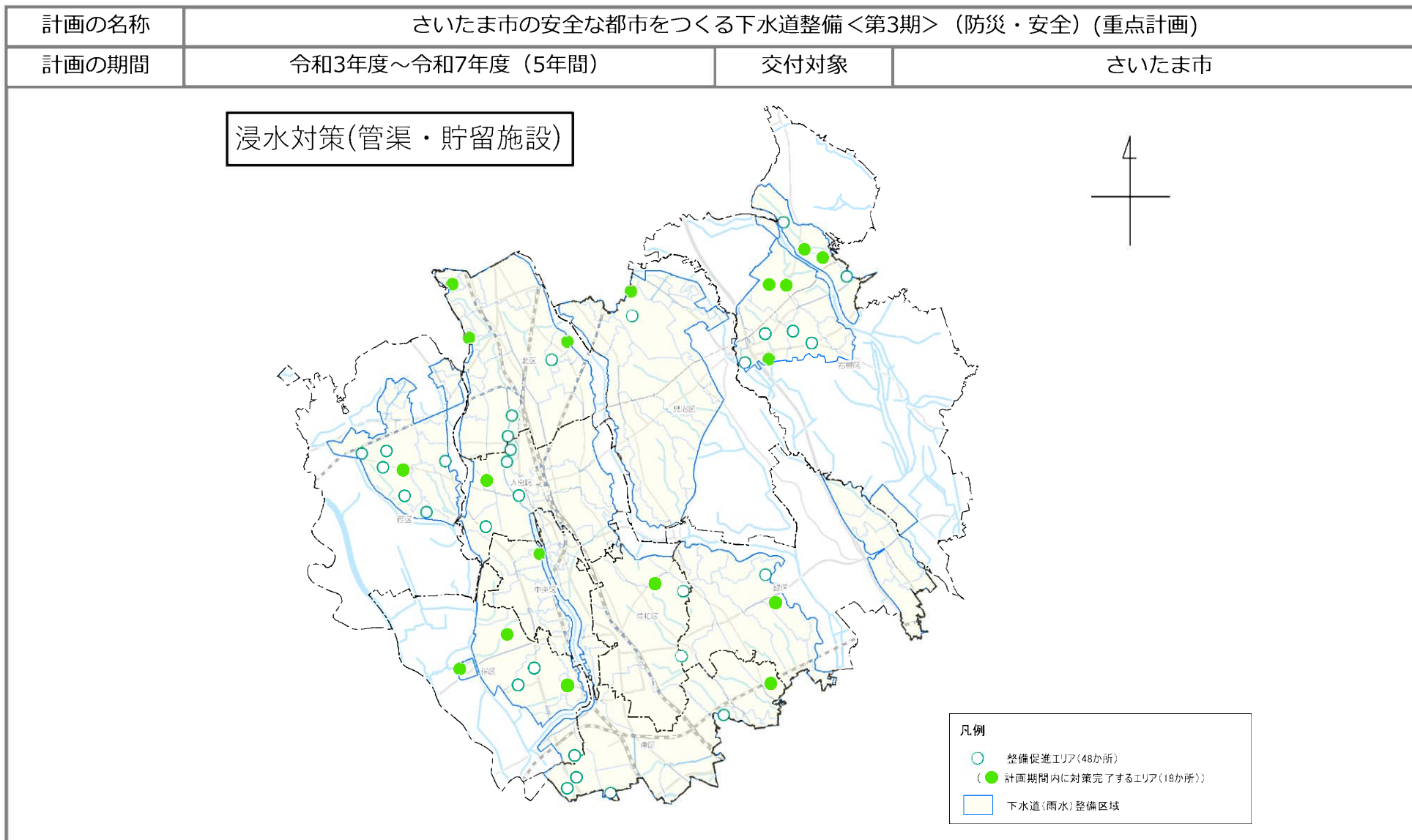
公共事業評価調書《事前評価・社会資本総合整備計画事業》

(1) 概要									
計画(事業)の名称		さいたま市の安全な都市をつくる下水道整備<第3期> (防災・安全) (重点計画)							
計画(事業)の期間		令和3年度～令和7年度 (5年間)							
計画の目標		下水道整備を行い、「安全で安心に暮らせる都市づくり」、「環境に配慮した快適な暮らし」、「健全で持続的な事業経営」の実現を図る。							
計画の成果目標 (定量的指標)		①優先して浸水対策を行うべき整備促進エリア48か所について、浸水被害を軽減するため18か所を整備し、浸水を軽減する割合を37%とする。							
定量的指標 の定義及び 算定式	指標①				定量的指標の現況値及び目標値				
					当初現況値	中間目標値	最終目標値		
					(年度)	(年度)	(年度)		
		浸水を軽減する割合=整備促進エリア対策完了数(か所)/整備促進エリア数(48か所)(か所)			-	20%	37%		
全体事業費	合計(A+B+C)	3,593(百万円)	A	3,593(百万円)	B	0(百万円)	C	0(百万円)	

(2) 交付対象事業の詳細											
A 基幹事業											
番号	要素となる事業名 (事業箇所)	事業種別	事業内容 (延長・面積等)	費用使益費 B/C	事業実施年度					全体事業費 (百万円)	備考
					R3	R4	R5	R6	R7		
1	浸水対策 (管渠・貯留施設)	下水道	整備促進エリア 18か所 φ1,350～4,000 □500～5,500 L=12,407m 貯留施設	-	■	■	■	■	■	3,593	通常の下水道
合計(下水道事業)										3,593	
B 関連社会資本整備事業											
1											
合計(関連社会資本整備事業)											
C 効果促進事業											
1											
合計(効果促進事業)											

担当部局	建設局下水道部下水道計画課 TEL : 048-829-1565 FAX : 048-829-1975 E-mail : gesuido-keikaku@city.saitama.lg.jp
------	--

参考図面



社会資本総合整備計画

さいたま市の安全な都市をつくる下水道整備＜第3期＞（防災・安全）
さいたま市の安全な都市をつくる下水道整備＜第3期＞（防災・安全）（重点計画）

さいたま市公共事業評価審査会

令和3年1月28日

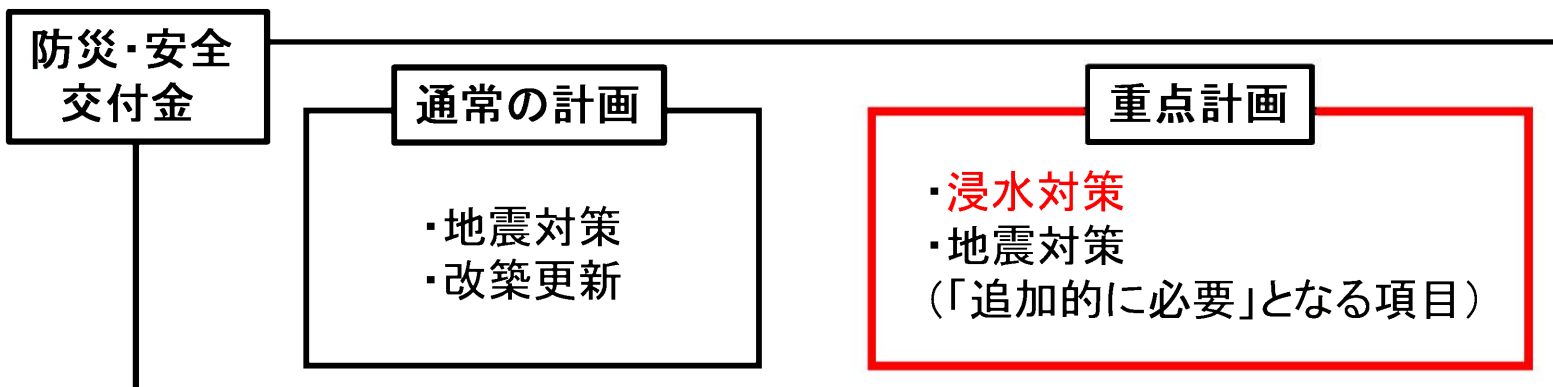
建設局 下水道部 下水道計画課

1. 計画概要及び上位計画における位置づけ
2. 定量的指標について
3. 各要素事業の概要について

1. 計画概要及び上位計画における位置づけ

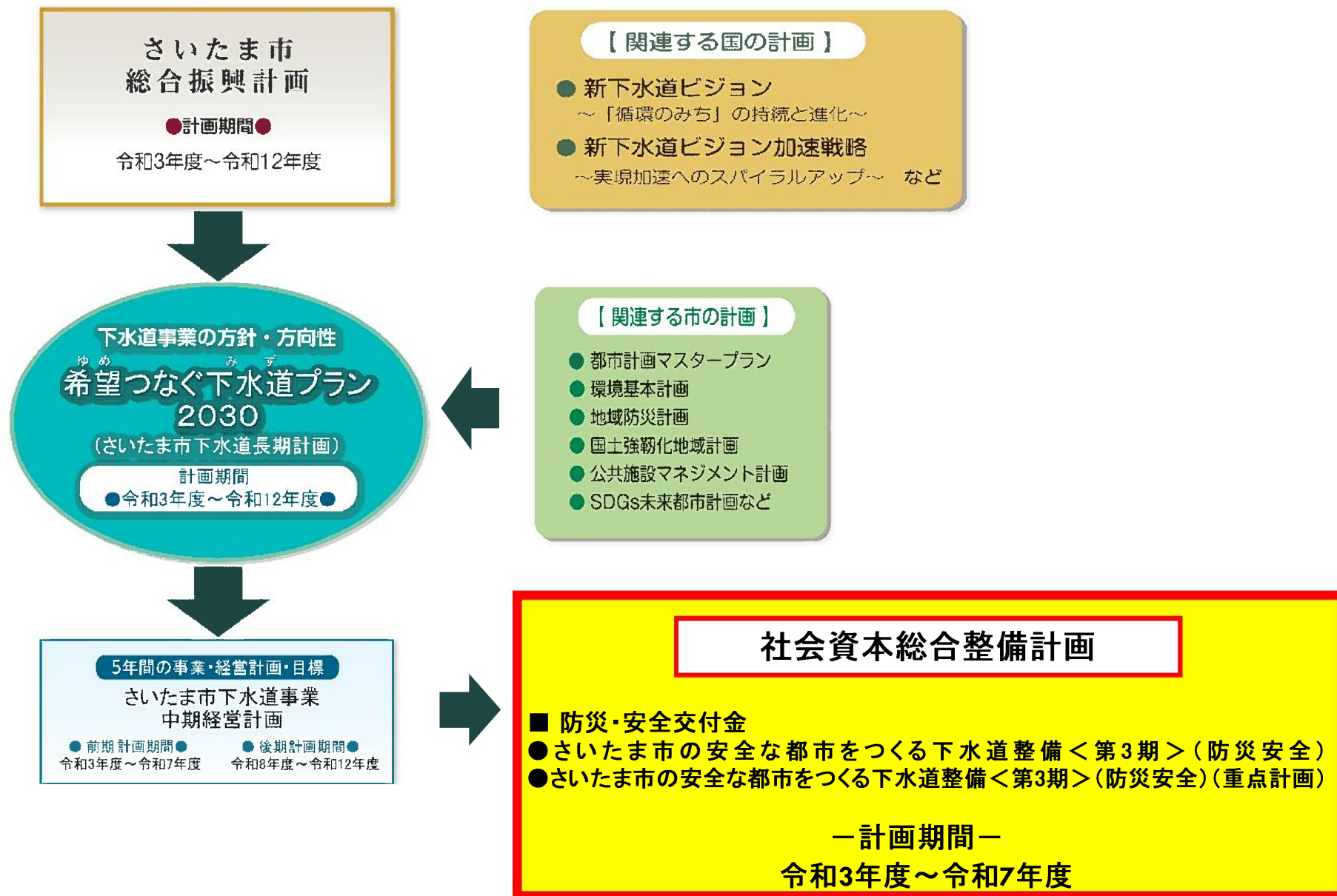
■ 計画概要

交付金の種類	防災・安全交付金	
計画名称	さいたま市の安全な都市をつくる下水道整備<第3期> (防災安全)	さいたま市の安全な都市をつくる下水道整備<第3期> (防災安全) (重点計画)
計画期間	令和3年度～令和7年度(5年間)	
計画目標	下水道整備を行い、「安全で安心して暮らせる都市づくり」、 「環境に配慮した快適な暮らし」、「健全で持続的な事業経営」の実現を図る	
要素事業	地震対策(管渠)	浸水対策 (管渠・貯留施設)
	改築更新(管渠)	
	改築更新(ポンプ場)	



1. 計画概要及び上位計画における位置づけ

■ 上位計画



1. 計画概要及び上位計画における位置づけ

■ 下水道長期計画 (令和3年度～令和12年度)

概要

様々な課題に対応するため、下水道の基本的な方針や方向性を示すもの

主な施策

地震対策の推進

ストックマネジメントの推進

浸水対策の推進



■ 下水道事業中期経営計画 (前期:令和3年度～令和7年度)

概要

長期計画で定めた各施策について具体的な指標や目標設定し、実行・評価を行うもの

目標指標

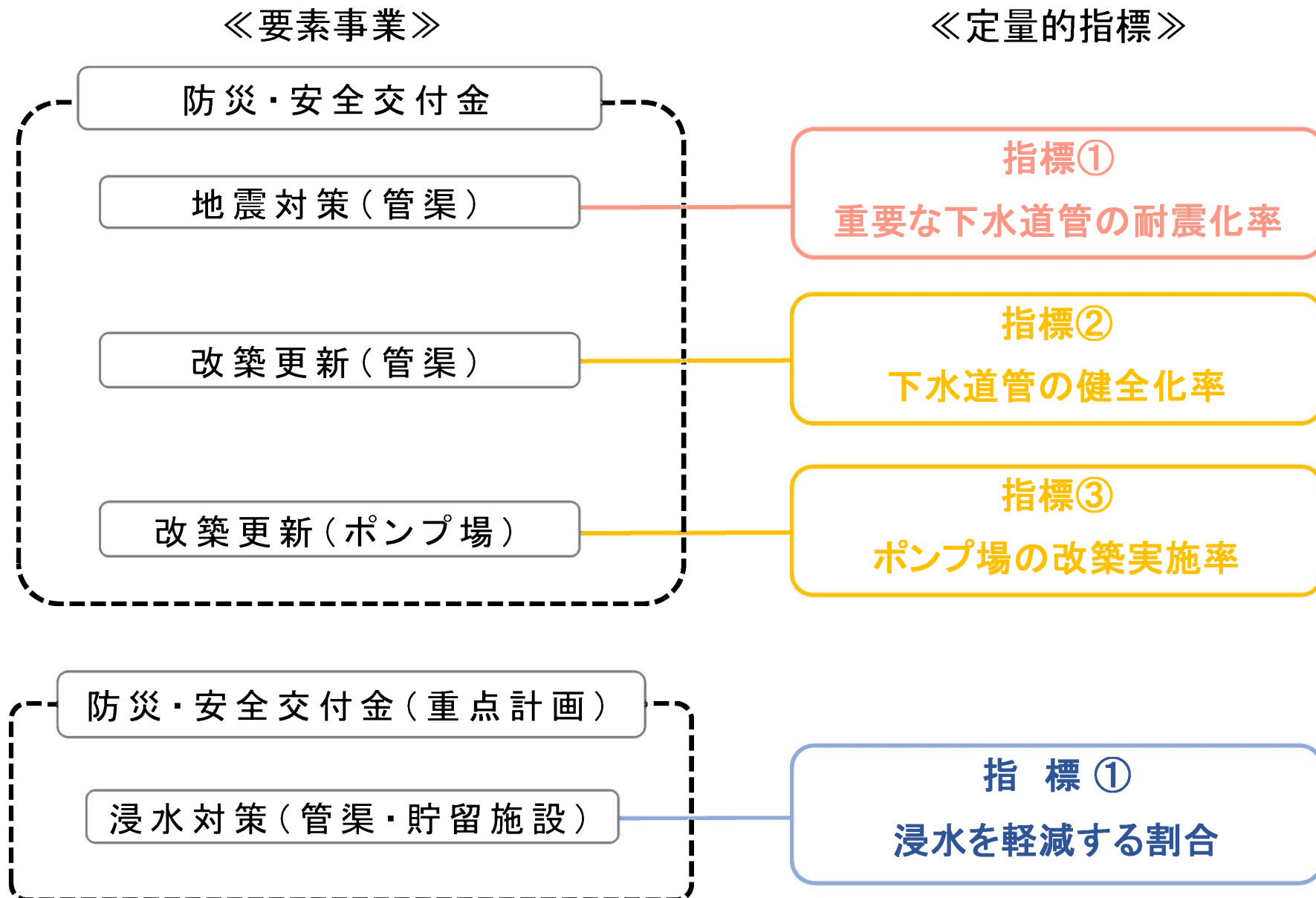
重要な下水道管の耐震化率34%

下水道管の健全化率63%
ポンプ場9か所の改築

整備促進エリア18か所の整備

2. 定量的指標について

■要素事業と指標の関係性



2. 定量的指標について

【防安】指標① 重要な下水道管の耐震化率

■対応する事業

地震対策(管渠)

■計画の成果目標

重要な下水道管のうち、地震による被害の最小化を図るため、地震時にも下水道としての機能が確保できる耐震性能を有している割合(耐震化率)を24%から34%に上昇させる。

■指標の定義

重要な下水道管(緊急輸送道路下及び防災拠点・避難所等からの排水を受ける下水道管)のうち、耐震性能を有する延長の割合

■定量的指標の目標値

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
A : 耐震性能を有する管渠延長	185km	200km	211km	230km	246km	260km
B : 重要な下水道管	770km	770km				
耐震化率 = (A/B) × 100	24%	26%	27%	30%	32%	34%

2. 定量的指標について

【防安】指標② 下水道管の健全化率

■ 対応する事業

改築更新(管渠)

■ 計画の成果目標

中心市街地周辺の下水道管約1,400kmにおいて、安定した下水道サービスを提供するため、下水道管が健全な状態である割合(健全化率)を33%から63%に上昇させる。

■ 指標の定義

対象路線(中心市街地周辺の下水道管)の下水道管延長のうち、下水道管の点検・調査により、健全が確認された延長と改築を行った延長の割合

■ 定量的指標の目標値

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
A : 健全が確認された延長 と改築を行った延長	474km	546km	615km	685km	785km	884km
B : 対象路線	1,400km	1,400km				
健全化率 = (A/B) × 100	33%	39%	43%	48%	56%	63%

2. 定量的指標について

【防安】指標③ ポンプ場の改築実施率

■対応する事業

改築更新(ポンプ場)

■計画の成果目標

安定した下水道サービスを提供するため、設備の老朽化により機能確保が困難となる設備を対象に令和7年度までに改築が必要なポンプ場9か所の改築を行い、ポンプ場の改築実施率を100%とする。

■指標の定義

対象ポンプ場数のうち、改築を実施したポンプ場数の割合

■定量的指標の目標値

年度	R3	R4	R5	R6	R7
A : 改築を実施したポンプ場数	1か所	2か所	4か所	7か所	9か所
B : 対象ポンプ場数	9か所				
改築実施率 = (A/B) × 100	11%	22%	44%	77%	100%

2. 定量的指標について

【防安・重点】指標① 浸水を軽減する割合

■ 対応する事業

浸水対策(管渠・貯留施設)

■ 計画の成果目標

優先して浸水対策を行うべき整備促進エリア48か所について、浸水被害を軽減するため18か所を整備し、浸水を軽減する割合を37%とする。

■ 指標の定義

整備促進エリア数のうち、対策を完了した整備促進エリア数の割合

■ 定量的指標の目標値

年度	R3	R4	R5	R6	R7
A : 整備促進エリア 対策完了数	3か所	6か所	10か所	14か所	18か所
B : 整備促進エリア数	48か所				
浸水を軽減する割合 = (A/B) × 100	6%	12%	20%	29%	37%

3. 各要素事業の概要について

■要素事業一覧

要素事業	交付金の種類	事業内容	総事業費	スケジュール				
				R3	R4	R5	R6	R7
地震対策(管渠)	防安	75km	2,292 百万円	■	■	■	■	■
改築更新(管渠)		27km	283 百万円	■	■	■	■	■
改築更新(ポンプ場)		9か所	1,381 百万円	■	■	■	■	■
浸水対策 (管渠・貯留施設)	防安 (重点)	18か所	3,593 百万円	■	■	■	■	■

3. 各要素事業の概要について

地震対策(管渠) ……防災・安全交付金

■補助メニュー:下水道総合地震対策事業

地震時に下水道が最小限有すべき機能を確保するための施設の耐震化及び被災した場合の下水道機能のバックアップ対策を併せて進める事業

■整備状況

本市の下水道管約3,450kmの内、緊急輸送道路に埋設された下水道管や防災拠点・避難所等からの排水を受ける下水道管、約770kmを重要な下水道管と位置づけ、この内、約185kmの耐震化を進めた(R2年度末見込)

■事業内容

地震による被害の最小化を図るため、重要な下水道管(約770km)のうち75kmの耐震化を進める

■工事概要

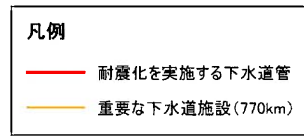
耐震診断、管更生、布設替え、可とう継手、浮上防止等

3. 各要素事業の概要について

■事業箇所図 【地震対策(管渠)】

さいたま市の安全な都市をつくる下水道整備<第3期>(防災・安全)

地震対策(管渠)



3. 各要素事業の概要について

改築更新(管渠)・・・防災・安全交付金

■補助メニュー: 下水道ストックマネジメント支援制度

下水道施設の持続的な機能確保及びライフサイクルコストの低減を図ることを目的として、下水道施設を一体的に捉えた「下水道ストックマネジメント計画」を策定し、当該計画に基づき、計画的な点検・調査及び長寿命化含めた改築等を行う事業

■整備状況

本市が有する膨大な下水道管に対し、適切な予防保全型維持管理を進め、既存の約3,450kmの下水道管のうち、約684kmの点検調査を行い、この内老朽化が進行した約58km(補助対象路線以外も含む)の改築を実施した(R2年度末見込)

■事業内容

中心市街地周辺約1,400kmのうち、下水道管の点検・調査により、健全性が低下している下水道管の改築を27km進める

■工事概要

管更生、布設替え等

3. 各要素事業の概要について

改築更新(ポンプ場)・・・防災・安全交付金

■補助メニュー:下水道ストックマネジメント支援制度

下水道施設の持続的な機能確保及びライフサイクルコストの低減を図ることを目的として、下水道施設を一体的に捉えた「下水道ストックマネジメント計画」を策定し、当該計画に基づき、計画的な点検・調査及び長寿命化含めた改築等を行う事業

■整備状況

設置年度が比較的新しい中継ポンプ場1か所を除き、17か所の中継ポンプ場において老朽化した施設の改築を実施した(R2年度末見込)

■事業内容

19か所のポンプ場のうち、点検・調査による機能低下が生じた設備について計画的に9か所の改築を進める

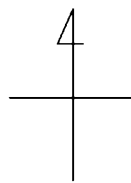
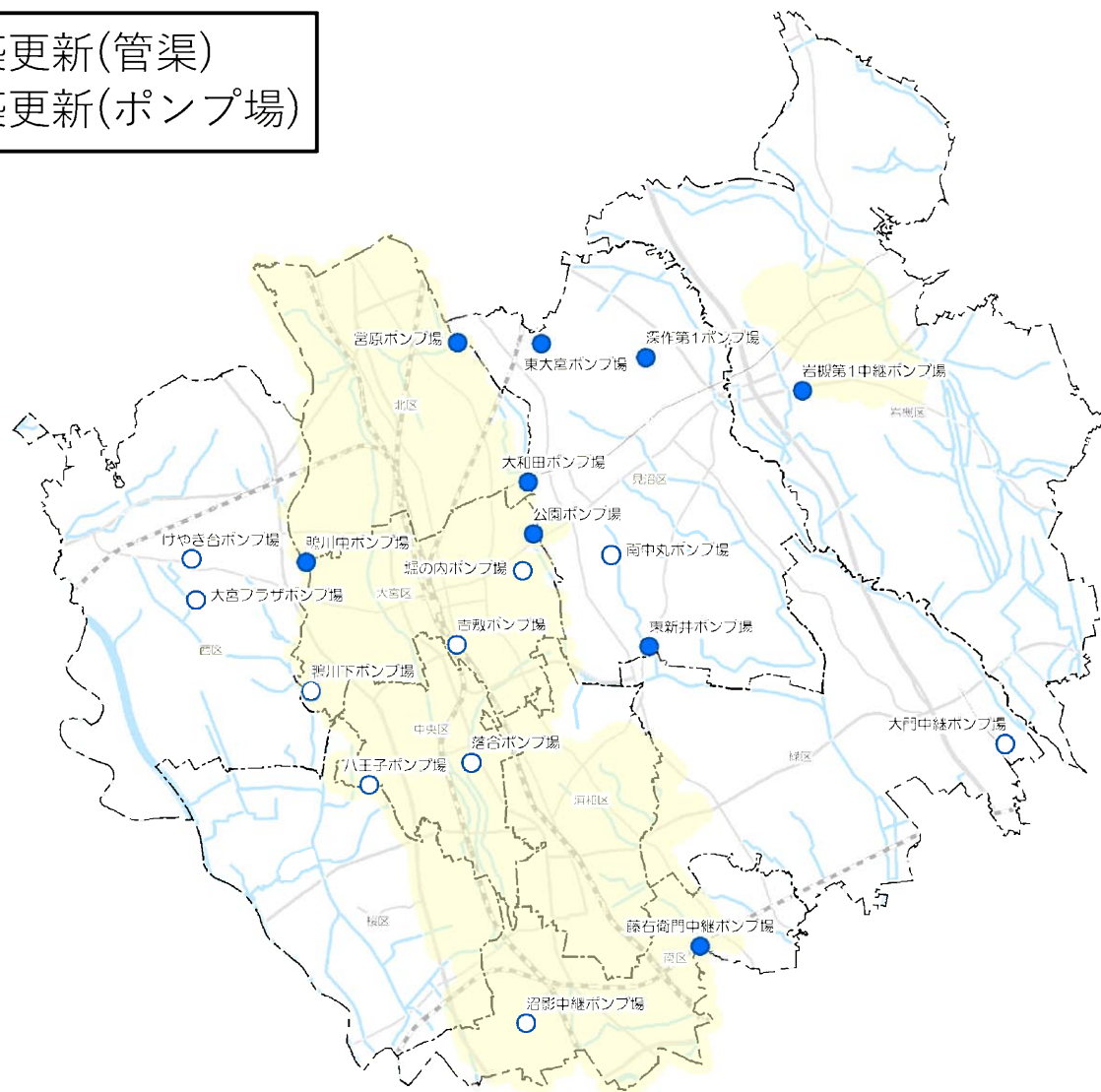
■工事概要

土木・建築・機械・電気設備の改築・長寿命化対策

3. 各要素事業の概要について

■事業箇所図 【改築更新(管渠)】【改築更新(ポンプ場)】 さいたま市の安全な都市をつくる下水道整備<第3期>(防災・安全)

改築更新(管渠)
改築更新(ポンプ場)



凡例
○ ポンプ場(改築対象ポンプ場のすべて)
● 5か年で実施予定ポンプ場
■ 点検・調査・改築対象エリア

3. 各要素事業の概要について

浸水対策(管渠・貯留施設)・・・防災・安全交付金(重点計画)

■補助メニュー:通常の下水道

公共下水道、流域下水道、都市下水路の設置又は改築に関する事業

■整備状況

浸水被害の状況や市民からの要望等を踏まえ優先的に対策を実施する整備促進エリア82か所の内、46か所の雨水管や貯留施設等の対策が完了した(R2年度末見込)

■事業内容

令和2年度に、未実施エリアにおける浸水状況、近年の被害状況や地域特性を踏まえ、新たに整備促進エリア箇所数48か所を設定し、18か所の整備を行う

■工事概要

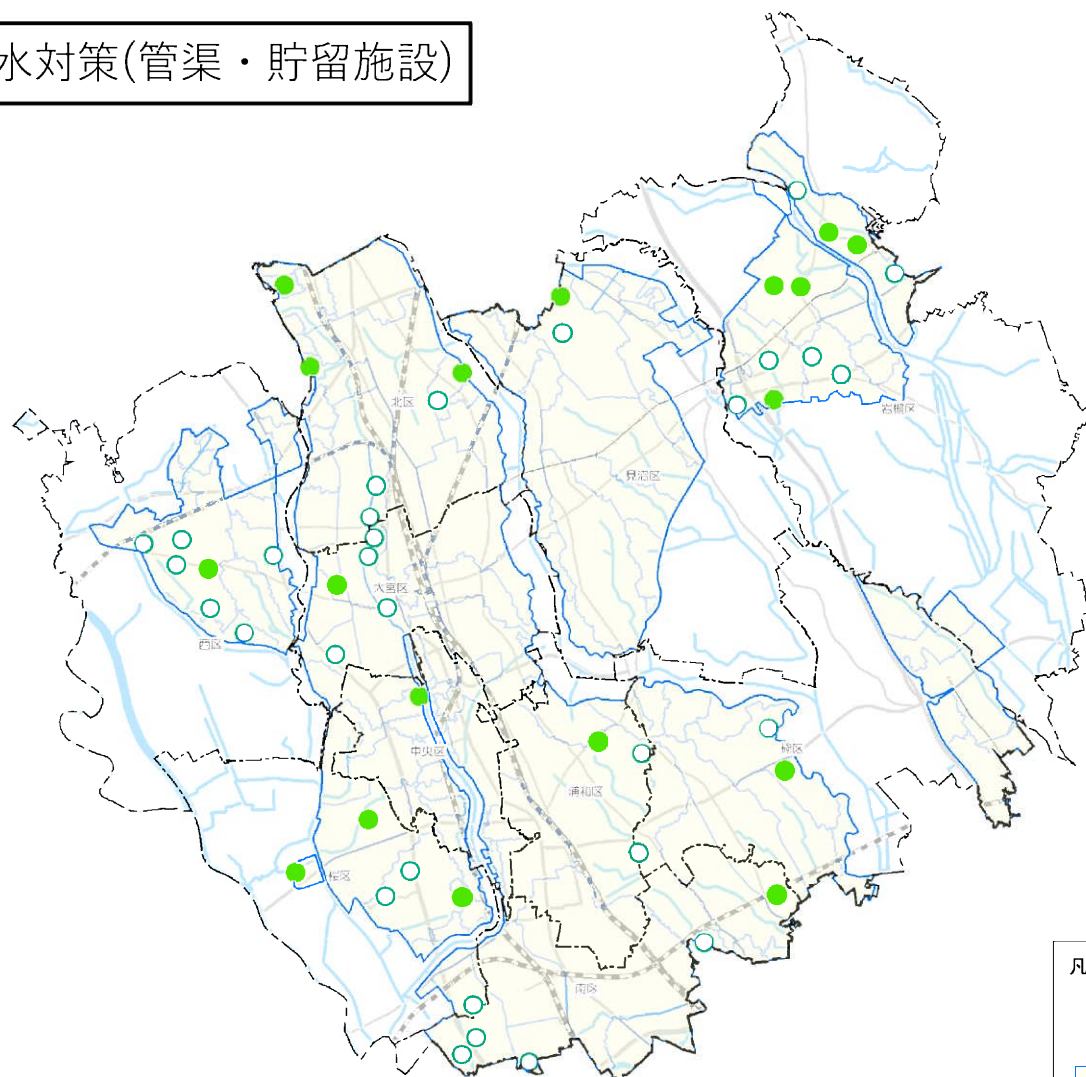
雨水管きよ、貯留施設

3. 各要素事業の概要について

■事業箇所図 【浸水対策(管渠・貯留施設)】

さいたま市の安全な都市をつくる下水道整備<第3期>(防災・安全)(重点計画)

浸水対策(管渠・貯留施設)



- 凡例
- 整備促進エリア(48か所)
 - 計画期間内に対策完了するエリア(18か所)
 - 下水道(雨水)整備区域